

道徳科学習指導案

指導者 佐々野 美紀

- 1 学 年 第2学年1組 11名
- 2 日 時 令和5年1月27日（金）第5校時
- 3 主題名 「自分のいいところ」（A 個性の伸長）
- 4 本時のねらい

先生からほめられてととてもうれしくなったりえの気持ちを考えることを通して、よいところが見つかるるととてもうれしい気持ちになることに気づき、自分のよいところを見つけていこうとする態度を育てる。

- 5 教材名 「いいところ みつけた」（日本文教出版）
- 6 主題設定の理由

（1）主題観

個性の伸長は、自分のよさを生かし更にそれを伸ばし、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。この時期の児童は発達段階から、自分自身を客観視することが十分にできるとは言えないため、自分のいいところに気づきにくい。児童が自分の特徴に気付く契機となるのは、他者からの評価によることがほとんどである。したがって、児童の長所を積極的に認め、励まし、児童自身が具体的な場面で芽生えてくる自分の長所にできるだけ多く気づき、実感していけるようにしたい。

（2）児童観

本学級の児童を対象にした、児童生徒等の意識調査（道徳アンケート12月実施）によると、「自分にはいいところがあると思う」の項目で肯定的回答をした児童の割合は100%であり、4月当初の85%から伸びてきている。これは、帰りの会で行っている「きらきらさん紹介」で、友達のよいところを見つけていることの効果でもあったと考える。しかし、日々の生活の中で、自分を否定するような発言をする児童の姿もしばしば見られる。

（3）教材観・指導観

本教材は、自分はおとなしくてあまり人に褒められたことがない主人公が、教師に、小さい子の面倒をよくみるということを認められたことで、とてもうれしくなり、自分のよさに気づくという話である。よいところが見つかるるととてもうれしい気持ちになることに気づき、自分のよいところを見つけていこうとする態度を養うことに適した教材である。

指導にあたっては、はじめに、これまで帰りの会の「きらきらさん紹介」で友達のいいところについて見つけてきたことを想起させ、本時の学習につなげる。

次に、りえの人物像について考えさせ、自分のよいところに気付いていないりえだが、いいところがありそうだということを確認する。次に、1年生に優しくしたのにしょうた君に怒られてしまったりえについて考えさせ、りえは悪いことをしたのではなく、小さい子の面倒を見てあげるなど、いいことをしたのだということを確認し、りえの人物像に共感させる。

最後に、先生の言葉を聞いた主人公の気持ちを自分のこととして考えさせる。そして、主人公と同じように、だれにでもいいところがあることをおさえ、児童に自分のいいところについて考えさせるとともに、教師が書いたカードを参考にしながら自分のいいところに気付くことができるようにする。今後、帰りの会の「きらきらさん紹介」で友達のいいところだけでなく、自分のいいところも見つけていく活動を行うことを伝え、余韻をもって終わらせる。

7 カリキュラム・マネジメントの取組

- 1学期の取組として、帰りの会の「きらきらさん紹介」で友達のいいところを伝え合ったり、それらの行為について学級通信で保護者に知らせたりすることで、児童の自己肯定感が高まり、保護者からも「友達の気持ちを考えて行動できるようになった」「家でも大きな声がでるようになった」など、子どもの成長を喜ぶ姿が見られた。
- 2学期も道徳学習プログラムの「じぶんやともだちのよさを見つけて なかよくたすけあおう！」の目標に向けて、道徳科を中心とした学習活動を行う。
- 日々の生活の中で、児童の技能面のよさや性格面のよさを見取り、個別に声をかけたり、みんなの前で紹介したりして、継続して自己肯定感を高める取組を行う。

8 本時の展開

(1) 準備物 場面絵、短冊、写真、メッセージカード

(2) 本時の学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導 入 5 分	①本時で学習するテーマを捉える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 帰りの会の「きらきらさん紹介」で友達のいいところをたくさん見つけていますね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 考えよう 自分のいいところをたくさん見つけてかじったことを伝え合おう。 </div>	<p>○帰りの会の「きらきらさん紹介」で友達のいいところをたくさん見つけていることを取り上げ、本時の学習へとつなげる。</p> <p>○きらきらの木のメッセージが増えている様子を写真で見せ、誰にでもいいところがたくさんありそうだという期待をもつことができるようにする。</p>

<p>展 開</p> <p>32 分</p>	<p>②教材「いいところ みいつけた」を読んで考え、話し合う。 (p 62 1 行目～p 63 6 行目まで)</p> <p>③続きの教材文を読む。 (p 63 7 行目～p 64 14 行目まで)</p> <p>④続きの教材文を読む。 (p 65 1 行目～p 65 10 行目まで)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>りえさんはどんな子なのかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・弟みたいにいいところがない。 ・あまりほめられない。 ・小さい子にやさしい。 ・親切。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1 年生にやさしくしたのにしょうた君に怒られちゃったね。 りえさん、悪いことをしたのかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしいことをしたんだよ。 ・1 年生に親切にしたのに。 ・りえさんはいいことをしたのにしょうた君に分かってもらえなくて悲しい。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>先生の言葉を聞いてりえさんはどんな気持ちになったでしょう。</p> </div> <p>【先生に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生は分かってくれていたんだ。 ・先生がほめてくれたところが、私のいいところなんだ。 <p>【だれにでもいいところがある】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のいいところが分かった。 ・いいところが見つかってうれしい。 ・小さい子の面倒を見ることができることが私のいいところなんだ。 ・いいところはだれにでもあるんだ。 <p>【これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも小さい子に優しくしよう。 ・もっと自分のいいところを見つけていこう。 	<p>○自分のいいところに気づいていないが、弟がかさをたたむのを手伝ったり、1 年生の子の荷物をもったりすることができるりえはどんな人物なのか考えさせる。</p> <p>○みんなに迷惑をかけてしまい、自信をなくしていることと、しょうたに分かってもらえない悲しさを共感的に考えるとともに、りえの人物像を捉えさせる。</p> <p>☆先生の言葉を聞いたりえの気持ちを自分のこととして考え、自分のいいところに目を向けようとしているか。(道徳ノート、発言)</p> <p>○児童の考えを分類し、整理する。</p>
--------------------------------	---	--	--

		<p>みんなのいいところはどこかな。 自分のいいところを星のカードに 書きましょう。</p>	<p>○まず、自分のいいところについて考 えさせ、星のカードに書かせる。次 に、教師が児童のいいところを書い たカードを一人一人に配る。自分の いいところが書けない児童は、教師 からのカードを参考にしながら星 のカードに書いたり、自分では気づ かなかったいいところに気づいた りすることができるようにする。</p>
<p>終 末 8 分</p>	<p>⑤本時の学習か ら、これからの 自分に生かして いきたいことを 考える。</p>	<p>いいところが見つかってどんな気 持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いいところが見つかってうれしい な。 ・自分のいいところをもっと見つけて いきたい。 ・みんな必ずいいところがある。 ・いいところは、いろいろあってみん なちがう。 	<p>○3年生に向けて、帰りの会の「きら きりさん紹介」で友達のいいところ だけでなく、自分のいいところも見 つけていくよう伝え、余韻をもって 終わらせる。</p>

9 板書計画

場面絵②

〈りえさんのいいところ〉

- ・ 小さい子のめんどうをみるところ
- ・ やさしいところ

小さい子のめんどうをみることでできるのは、りえさんのいいところですね。

- ・ 先生は分かってくれていたんだ。
- ・ 先生がほめてくれたところが、わたしのいいところなんだ。
- ・ わたしのいいところが分かった。
- ・ いいところが見つかってうれい。
- ・ 小さい子のめんどうをみることでできることがわたしのいいところなんだ。
- ・ これからも小さい子にやさしくしよう。
- ・ もっと自分のいいところを見つけていこう。
- ・ いいところはだれにでもあるんだ。

場面絵①

おそいよ

- ・ やさしいことをしたんだよ。
- ・ 一年生にやさしくしたのに。
- ・ しょうたくんに分かってもらえなくてかなしい。

つぎの日

なっている一年生に声をかけ、ほけん室につれて行った。

ある雨の日

りえ

- 弟はうんどうがとくい。元気。
- 弟のかさをたたむのを手つだった。
- 1年生の子にもつをもつてあげた。
- おとなしい。あまりほめられたことがない。
- やさしい
- しんせつ

考えよう

自分のいいところをたくさん見つけて感じたことをつたえ合おう。

いいところ みいつけた